



TAGAWA KYOKO

多川響子 [ピアノ]

丹波市柏原町出身。

京都市立芸術大学音楽学部卒業および同大学大学院音楽研究科修了。

ドイツ/ドレスデン・カール・マリア・フォン・ウェーバー音楽大学卒業。在独中にはドイツ、ポーランドにて様々な演奏会に出演する。

第9回宝塚ベガ音楽コンクール入選。コントラバス奏者サンデル・スマラン デスク氏と行ったデュオリサイタルに対し2002年度バロックザール賞受賞。

これまでに佐野頼子、小原久幸、馬場和世、上野真、ペーター・レーゼ、田崎悦子の各氏に師事。

2009年～2011年、ベートーヴェン ピアノソナタ全曲演奏を達成し、日本経済新聞をはじめ各紙に取り上げられる。

バロックから近現代の幅広いレパートリーをもち、ソロサイタルを数多く行う他、オーケストラとの共演、室内楽など多方面で精力的に活動し、その活動は国内にとどまらず、ヨーロッパやアジアをはじめ国外でも行っている。

現在、京都情報大学院大学教授、同志社女子大学音楽学科、京都市立京都堀川音楽高校非常勤講師。

公式ホームページ tagawakyoko-pf.com

矢野正浩 [指揮]

1990年ドイツ国立トロッシッゲン音楽大学大学院を最高点で修了。

1992年フィンランド ヨエンスウ市立管弦楽団に首席フルート奏者として入団、同時にシベリウスアカデミー音楽大学クオーピオ校専任講師に就任。

1996年より室内オーケストラ”アンサンブル神戸“を主宰し、自主公演は150回を数える。

2001年より神戸21世紀混声合唱団を組織し指揮者となる。

2007年1月NHK-FM名曲リサイタルに出演。

2009年クルト・マズア指揮マスタークラス東京でアシスタントを務める。

2017年3月ルーマニア国立オラデアフィルハーモニー交響楽団定期演奏会を指揮。

2018年10月ジョージア国立トビリシ交響楽団定期演奏会を指揮、またトビリシで行ったフルトリサイタルは国営テレビで紹介される。

1998年第2回松方ホール音楽賞大賞受賞。

平成20年度神戸市文化奨励賞受賞。

令和2年度神戸市文化賞受賞。

令和7年度兵庫県文化賞受賞。



YANO TADAHIRO

アンサンブル神戸 [オーケストラ]



阪神淡路大震災時に仮設住宅などへの慰問演奏をきっかけに、関西を中心とした若手音楽家により発足。

1996年9月にオープンした神戸新聞松方ホールを本拠地として年間約10回の自主公演を行い、各方面からの依頼公演にも応えている。

2000年姉妹団体「神戸21世紀混声合唱団」を発足させ、宗教音楽にも積極的に取り組んでいる。

創立当時から元ベルリンフィル第1コンサートマスター、レオン・シュピーラー氏を首席コンサートマスターに招き、アンサンブルの綿密さや演奏能力の向上に努めてきた。

2013年5月、一般社団法人として法人化し、2015年その活動の公益性が認められ、内閣府より公益法人の認可を受けて、関西を代表するオーケストラとして地域文化振興、発展に貢献するため活動を続けている。

2025年3月初の海外公演として、ジョージア・トリビシ公演を成功させた。

2013年8月、第2回「KOBE ART AWARD(コウアートアワード)」優秀賞受賞。

令和3年度(第76回)文化庁芸術祭最優秀賞受賞。

令和6年度貝原俊民美しい兵庫づくり賞受賞。



吉井まどか

丹波市立市島小学校
5年生

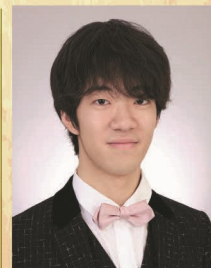
吉見藍香

丹波市立春日部小学校
5年生



井上心晴

福知山市立南陵中学校
1年生



岡部高弘

同志社大学経済学部
3年生
丹波市氷上町出身